

富山大学 J A B E E の活用と技術士制度説明会（新入生向け） 報告書

1. 概要

開催日時	2023年11月8日（水）	15:00～16:00
開催場所	富山大学総合教育研究棟多目的ホール	
参加者	・学生（学部1年生対象）、教員	40名
	・日本技術士会富山県支部	4名

2. 開催趣旨

JABEE 認定コースである富山大学都市デザイン学部（材料デザイン工学科、都市・交通デザイン学科、地球システム科学科）の学生の新入生を対象として、JABEE と技術士資格の有用性について説明を行い、JABEE 制度についての理解と技術士の普及を図っていくことを狙いとする。

3. プログラム

15:00～15:05	学部長あいさつ	学部長 安永 数明 教授
15:05～15:10	富山県支部あいさつ	支部長 市森 友明
15:10～15:40	JABEE制度の活用と技術士制度 「現役技術士の活躍状況」	富山県支部事務局 大門 健一
15:40～15:50	「JABEE制度の活用例 - 建設コンサルタントの事例 - 」	NiX JAPAN（株） 荒井 秀和
15:50～16:00	質疑応答	

4. 開催概要

富山大学では都市デザイン学部が JABEE 認定を受けている。今年度入学した学生を対象として JABEE 認定の有用性についての理解を深めてもらうとともに、技術士からの体験記について話から将来の技術士取得への契機づけ、キャリアアップ像をイメージしてもらうことを目指し、説明会を行った。



写真 説明会風景

5. 参加者アンケート

(1) アンケート回答の状況

アンケートには学生の34人からの回答があった。すべて学部1年生からの回答であり、材料デザイン工学科の学生が大部分を占めた。技術者になるかどうかの意向については、社会人までの期間が長いこともあり、まだ未定という意向が多く見られている状況であった。

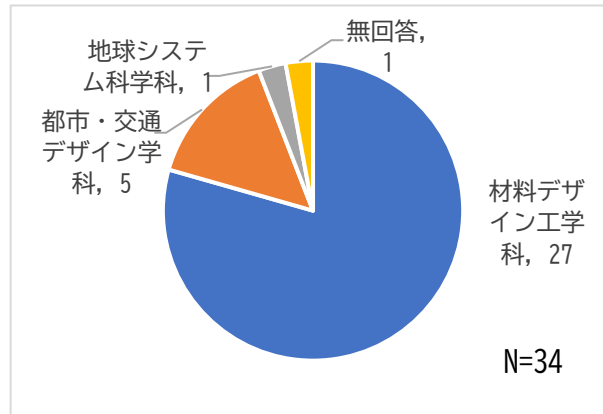


図1 学科の状況

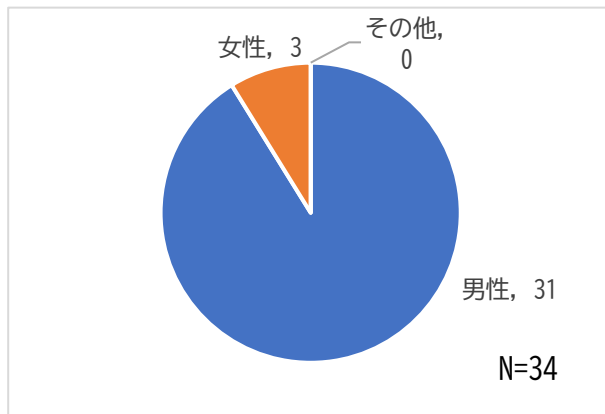


図2 性別の状況

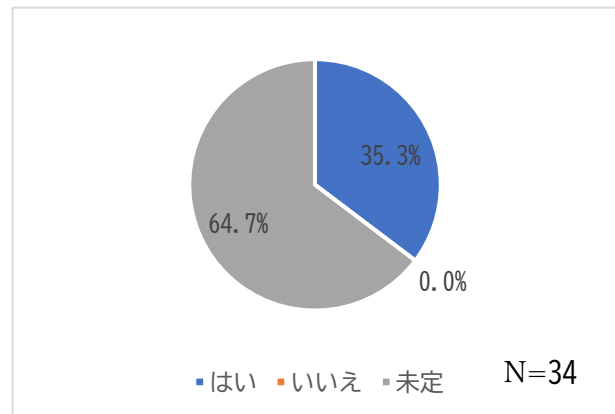


図3 技術者志望状況

(2) 技術士制度の認知状況

技術士の資格についての認知度は名称のみ知っていたを含め、約76%であったが、制度の内容までは理解されていない人が約8割を占めている。

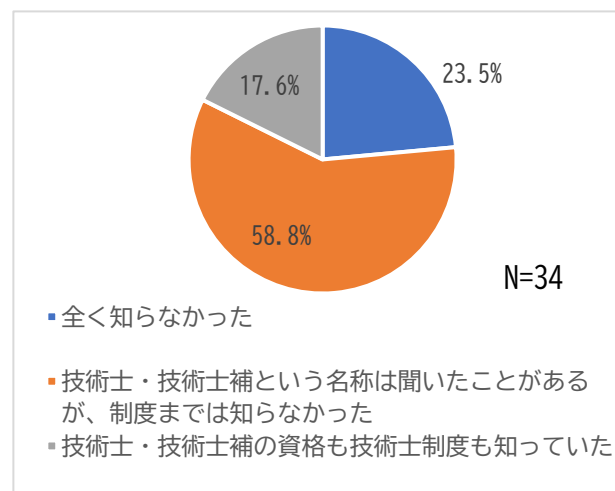


図4 技術士制度の認知度

(3) 説明会についての理解度

説明会終了後でも JABEE の利点 (②試験免除) について理解できていない人がおらず、概ね理解はされたものと思われる。

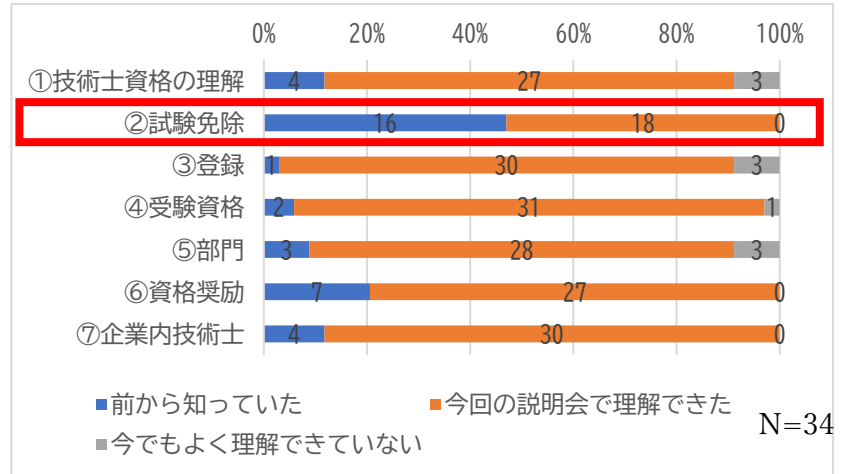


図6 説明会についての理解度

(4) ニーズのある情報

参加者がもっと聞きたい情報としては、例年通り、企業での活躍や処遇の実態が挙げられたほか、受験部門の選び方を聞きたいという意見が多くなっており、技術士受験への興味が増えたと考えられる。

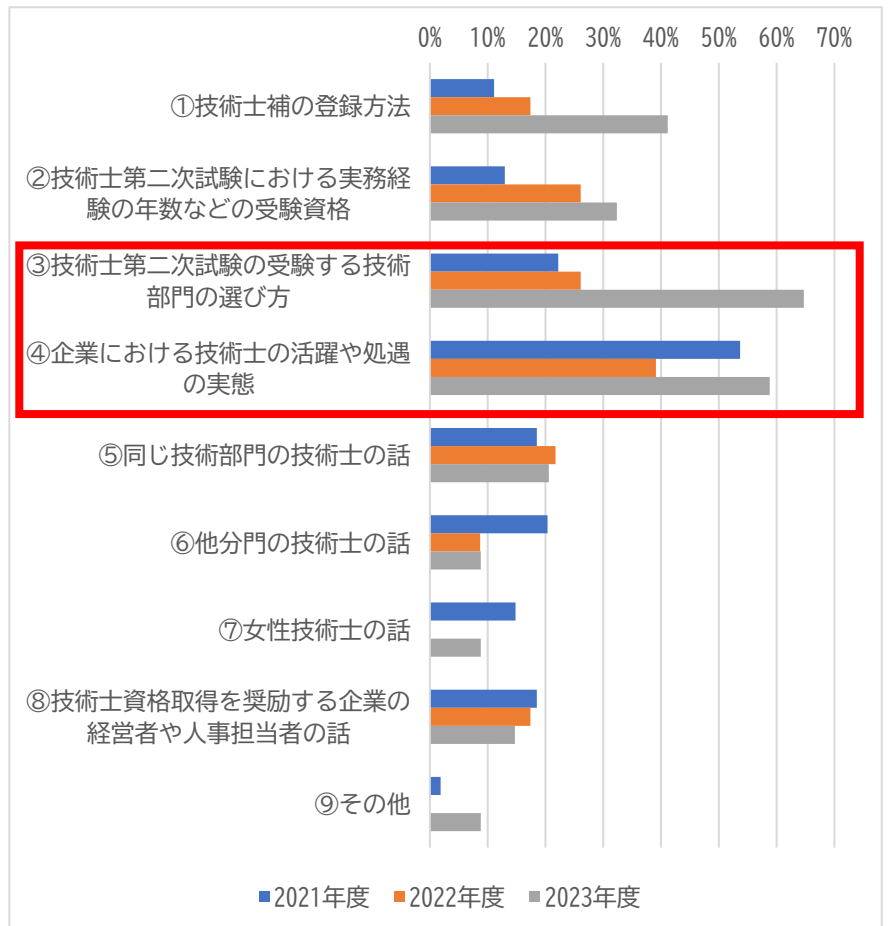


図7 もっと聞きたい事項

(5) 技術士を目指そうとする意欲の変化

以前より目指そうと思った学生が約 79%を占め、昨年度までと比較して、効果が見られた。

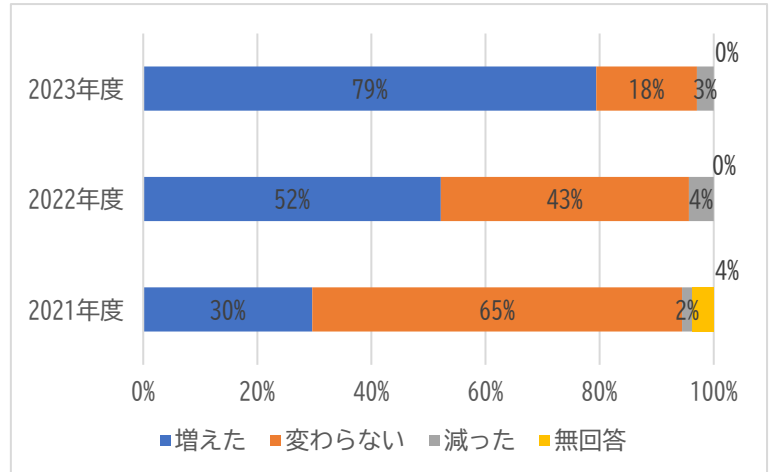


図8 技術士を目指す意欲の変化

(6) 説明会についての感想

資料、時間、質疑応答時間についてはちょうどよかったとの回答者が大半であり、適当な長さ、分量であったように考えられる。

ただし資料の見やすさという面では、課題が見られた。

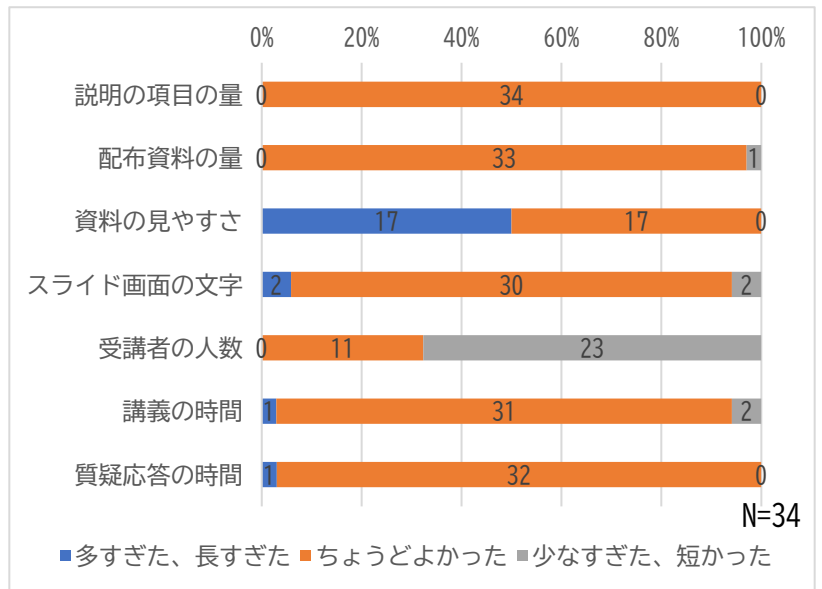


図9 説明会についての感想

(7) 説明会の回数設定について

説明会の回数設定については、毎年1回程度が最も多いものの、1回のみ、卒業時と2回の希望がほぼ同数であった。

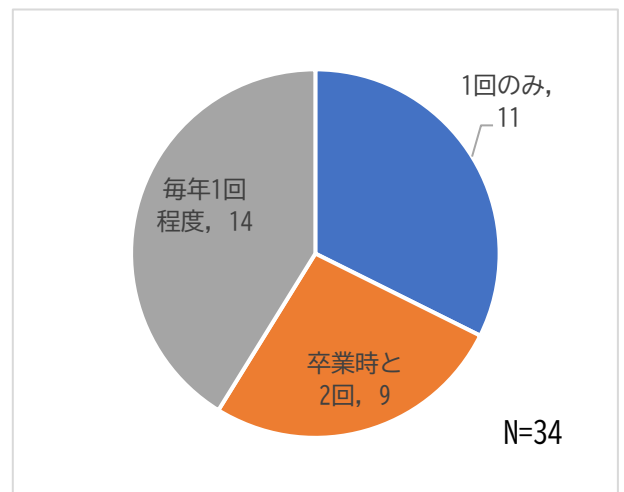


図10 説明会の回数設定

(8) 月刊「技術士」の認知度

大学に送付されているとのことだが、月刊「技術士」については知らない人が大部分である。

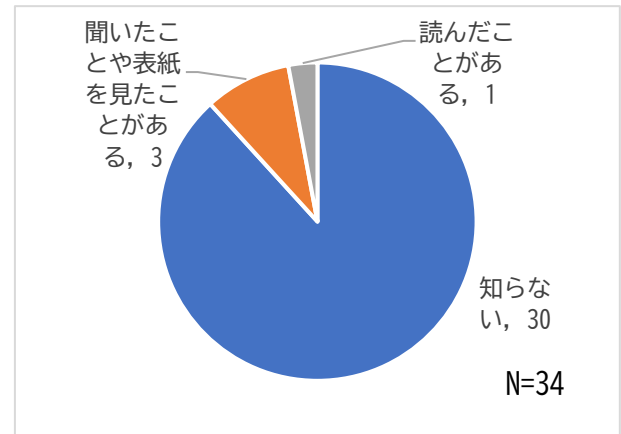


図 11 月刊「技術士」の認知度について

6. 開催総括

アンケートからは説明会の内容については適切であり、また理解が進んでいることが伺えた。